

地域提案型

平成24年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	インドネシア
2. 事業名	インドネシア共和国西ヌサトゥンガラ州における廃棄物管理業務の効率化事業
3. 事業の背景と必要性	インドネシアにおいて最も貧困な地域の一つである西ヌサトゥンガラ州の州都マタラム市では、廃棄物の収集量は、全体の約70パーセントと不十分で、残りは不法投棄や自家処理が行われている。さらに最終処分場はオープンダンピング方式で衛生的な処理が行われておらず、余寿命も短い状況であり、廃棄物処理のあり方が大きな課題となっている。廃棄物の効率的かつ適正な管理運営を行うためには、廃棄物行政に携わる職員の人材育成が必須であり、環境未来都市北九州市のノウハウを活用して、廃棄物管理システムの構築を図る。
4. プロジェクト目標	モデル地区において、効率的な廃棄物管理システムを構築し、廃棄物のリサイクル・減量化を進める。
5. 対象地域	西ヌサトゥンガラ州マタラム市内に設定するモデル地区
6. 受益者層（人数規模）	直接受益者：モデル地区住民（約200世帯、約1,000人） 間接受益者：マタラム市民（約40万人）
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> モデル地区における「廃棄物管理システム」の構築 廃棄物処理技術者が廃棄物適正処理技術を習得する 地域住民が廃棄物の減量・リサイクルに取り組む 廃棄物行政を担う人材の育成 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 廃棄物基礎調査 生ごみコンポスト技術指導 廃棄物管理システムの効率的な運用と住民啓発 本邦研修（北九州市）
8. 実施期間	2013年4月から2015年3月
9. 事業費概算額	23,527千円
10. 事業の実施体制	北九州市および公益財団法人北九州市環境整備協会 西ヌサトゥンガラ州 環境管理局、マタラム市美化局
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	北九州市
2. 対象国との関係、協力実績	2002年より、スラバヤ市での生ごみコンポスト化事業の実績を元にインドネシア諸都市において国際協力事業を実施している。